

立川市の将来像  
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領 立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿  
○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども  
○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども  
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども  
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題  
○学力・体力の向上 ○特別支援教育の充実 ○小中連携

重点取組事項  
○ネットワーク型の学校経営 ○カリキュラム・マネジメント

立川市立第六小学校 教育目標  
ひまわりの校章に込められた「子どもたちが、太陽に向かって健やかに育つように」を基に、次の教育目標で児童を育成する。  
○ 考える子 ◎ 思いやりのある子 ○ 元気な子

立川第三中学校区 共通経営方針  
校区の地域、各小・中学校における児童・生徒の実態等に基づき、目指す児童・生徒像の実現のため、小中連携教育を全教育活動において推進する。  
校区で目指す子ども像  
自らすすんで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒

経営理念 「みんなが輝く学校」  
○ 明日が楽しみな学級・学年・学校経営を基盤に、「子どもの今と未来に大切なこと」を考え、「チーム六小」で地域と共にある学校経営を行う。  
○ 人材育成、組織力の向上を図り、児童と教職員を認め、鍛え、伸ばす。

目指す学校像  
「I・合い・愛」のあふれる楽しい学校の創造  
I：一人一人が瞳を輝かせ生活する学校（自立）  
合い：共に学び合う意欲にあふれる学校（共学）  
愛：共に生きようとする言動にあふれる学校（共生）

目指す児童像  
○ 基礎・基本を身に付け、よく考え、自らすすんで活動する子  
○ 人間としてふさわしい人権感覚をもち、温かい心で支え合う子  
○ 自他の生命と安全に関心をもち、心身ともに健康で明るい子

目指す教師像  
「朗らかに 工夫して 最後までやり抜く教師」  
○ 人として大切にすることを考え行動する教師。  
○ 組織力を活かし、課題を主体的に改善する教師。  
○ 自己研さんに励み、常に向上しようとする教師。  
○ 地域とともに学校を創り上げる教師。

<教育活動の目標と方策>

<学力・体力の向上に関すること>  
【目標1】 どの子にも分かる授業の工夫  
◆授業がよくわかるという児童85%以上  
◆「立川スタンダード20(基本的指導過程)」「六小スタンダード」を基に授業改善に取り組んだ教員90%以上  
【方策1】 授業の構造化、主体的・対話的で深い学びの実施、ICT機器を活用した効果的な指導の推進、算数科の習熟度別少人数指導の充実  
【目標2】 体力や健康への関心・意欲の向上  
◆体力の向上を実感する児童80%以上  
【方策2】 体育の授業改善、「体力向上推進月間」「さんさんタイム(体力向上)」の取組、オリンピック・パラリンピック教育の推進、「健康ウィーク」の「ひまわりっ子元気ファイル」による生活習慣の見直し  
【目標3】 反復学習、家庭学習、補充的学習の充実  
◆学力や体力向上の組織的な取組を評価する保護者80%以上  
【方策3】 さんさんタイム(国語・算数・理科)の東京ベーシック・ドリル、朝読書や読書週間の充実、放課後子ども教室等の補充的な学習・発展的な学習の充実、毎学期の家庭学習週間の設定

<特別支援教育の充実に関すること>  
【目標1】 特別支援教育体制の充実  
◆特別支援教育体制の充実を実感する教員80%以上  
【方策1】 特別支援教育コーディネーターの2名体制、校内委員会・サポート会議の効果的な開催、SCやSSW、巡回相談員等の有効活用、特別支援教育の研修実施  
【目標2】 支援計画に基づく計画的な特別支援教育の実施  
◆支援が必要な児童への個別的教育支援計画、個別指導計画の作成  
【方策2】 「個別的教育支援計画」、「個別指導計画」、「個別適応計画書」の作成・活用、学校支援員の適切な配置  
【目標3】 個に応じた指導の充実  
◆個に応じた指導で児童の変容を実感する教員80%以上  
【方策3】 学級・学校環境のユニバーサルデザイン化、特別支援教室六小キラルの充実、担任・巡回指導教員等の連携強化、特別支援教育の理解・啓発の推進

<小中連携に関すること>  
【目標1】 生活指導の課題の共有と校区共通の取組推進  
◆小中連携の生活指導の取組が進んだと評価する教員80%以上  
【方策1】 挨拶運動や学校行事における連携、児童会・生徒会サミットの実施、生活指導情報の共有と解決策の実施、配慮の必要な児童への指導方法の共有化  
【目標2】 学習指導・外国語活動に関する連携推進  
◆小中連携の学習指導の取組が進んだと評価する教員80%以上  
【方策2】 公開授業の実施による系統的な指導の充実、読書活動を充実させる交流活動の実施、校区教員の参加による外国語活動の充実  
【目標3】 立川市民科と心の教育の充実  
◆小中連携の市民科と心の教育の取組が進んだと評価する教員80%以上  
【方策3】 多摩・武蔵野検定、応急処置・普通救命講習、ファーレ立川、防災教育、地域力を生かした取組の推進、三中校区連合音楽会の実施、道徳授業相互交流の実施

<学校独自の取組>

【目標1】 「学校運営協議会」「地域学校協働本部」を核としたコミュニティ・スクールの推進  
◆保護者・地域との連携による学校経営を評価する保護者85%以上  
【方策1】 定期的な「学校運営協議会」「地域学校協働本部」の開催、地域人材・ボランティアとの協働、周年行事に向けた実行委員会の立ち上げ  
【目標2】 六小人権標語に基づく自他を大切にし、思いやりのある児童の育成  
◆あいさつやお互いを大切にして生活している児童85%以上  
【方策2】 挨拶習慣の定着とふわふわ言葉の推進、学校生活アンケートによる学級力や児童の意識向上、「考え、議論する道徳授業」の充実

【目標3】 「立川市民力を育む立川市民科の具体的展開」の研究深化・立川市民科の成果の発信  
◆まちに愛着をもち、貢献しようとする児童85%以上  
【方策3】 計画的な指導と校内研究の推進、全学年の研究授業と研究発表会実施、東京都多摩地区教育推進委員会での発表  
【目標4】 「プログラミング教育」研究協力校としてのプログラミング教育の実施  
◆プログラミング教育への理解が深まったと感じる教員80%以上  
【方策4】 計画的なプログラミング教育・情報モラル教育の実施、取組内容や成果が分かる資料の作成  
【目標5】 いじめ、不登校等の課題への即時・早期・組織的対応の実施  
◆毎日楽しく学校に通っている児童85%以上  
【方策5】 「六小いじめ防止基本方針」に基づく取組の推進、いじめ防止授業・生命尊重教育の充実、きめ細かな登校支援